

# バージョン 2.0 ユーザガイド

### 目次

バージョン 2.0 ユーザガイド1
必要要件3
インストール3
アップグレード4
アンインストール
セットアップ ウィザード5
インタフェース検出
WI-FIネットワーク
メイン画面8
携帯からWI-FI接続プロファイル9
携帯からUSB接続プロファイル9
携帯からBLUETOOTH接続プロファイル11
WI-FIからUSB接続プロファイル13
USBからWI-FI接続プロファイル13
終了
接続画面15
ステータス16
概要16
ソース
ターゲット17
NAT
NATマッピング18
切断18

オプション	19
ツール	19
すべての設定をリセット	19
ログ表示	19
サポート情報保存	19
USB	20
モードの切り換え	20
BLUETOOTH	20
モードの切り換え	20
検出可能モードの切り換え	20
WI-FI	20
電源	20
接続モード切り換え	21
構成	21
言語	21
接続方法	21
WI-FIネットワーク	21
変更	25
IPアドレス範囲	25
バッテリ	26
キープアライブ	27
詳細設定	27
ポートマッピング	28
バージョン情報	29
ライセンス	29
終了	29
このドキュメントはWMWifiRouter バージョン 1.20以降のものと関連性はありますが、バージョン	2.0で

の変更を反映し、アップデートしたものです。

### 著作権

(C) 2008, 2010 Morose Media. All rights reserved.

本ユーザガイドに記載されている内容は、予告なしに変更されることがあり、Morose Media はその責務を負うものではありません。また、本書で言及されている社名および製品名はすべて、それぞれの所有者の商標または商標登録です。

日本語ローカリゼーション:株式会社ネクステッジテクノロジー

# 必要要件

以下は、WMWifiRouterの動作に必要なシステム要件です。(注1)

- Windows Mobile 5 AKU 3.3 以上もしくは Windows Mobile 6、Windows Mobile 6.5
- Wi-Fi 接続と携帯電話のデータ通信接続
- インターネット共有がインストールされており、動作すること(注 2)
- 15MB 以上の空き容量

(注1)さらに必要要件が追加される場合もあります。

(注 2)プロバイダによっては自社ブランドの端末からインターネット共有を提供していない場合があります。

15MBの空き容量は、WMWifiRouterのインストールに2MB、残りをインターネット共有で重たいデータ通信などを行う際に容量不足になるのを防ぐために使われます。

# インストール

インストール方法は、以下の2つのオプションから選べます。

- パソコン上で 拡張子 exe インストーラを実行(Active Sync 接続が必要)
- デバイス上で拡張子cab インストーラを実行

exe インストーラを用いたインストールでは、デバイスとコンピュータが USB ケーブルもしくは、Bluetoot hによって接続されていることを確認し、コンピュータ上の exe インストーラを起動します。 デバイスヘプ ログラムのインストールが行われます。

exe インストーラでインストールを行う場合、アクティベーションキーを持っているなら、直接インストール 時にアクティベーションキーを入力できます。再度 WMWifiRouter をインストールする時のために、イン ストーラがアクティベーションキーを記憶してくれます。

cab インストーラを用いたインストールでは、cab ファイルをデバイスにダウンロードもしくはコピーし、デ バイス上でインストーラを起動しインストールします。

デバイスによっては、正常にインストールするために Wi-Fi をオンにしてから行う必要があります。

WMWifiRouter v1.11以前を使用している場合、新しいバージョンをインストールする前に古いバージョン をアンインストールする必要があります。

他のソフトウェア同様、WMWifiRouterをインストールする前に、デバイスの完全バックアップを行うことをお勧めします。

## アップグレード

WMWifiRouter のアップグレードとは、新しいバージョンをインストールすることです。 WMWifiRouter v1.11以前を使用している場合、新しいバージョンをインストールする前に古いバージョン をアンインストールする必要があります。

## アンインストール

他のアプリケーション同様、コンピュータ上の ActiveSync から、もしくは設定メニューの[システム]から [プログラムの削除]を選択することで WMWifiRouter をアンインストールできます。 デバイスによっては、アンインストールするために Wi-Fi をオンにしてから行う必要があります。

Wi-Fi ネットワーク管理モードを**ダイナミック(セキュリティ重視)**モードにした場合、アンインストール後も アドホック ネットワーク設定がデバイス内に残ります。このネットワークを手動で削除できます。設定メ ニューの[接続]から[Wi-Fi のネットワーク名(デフォルトでは WMWifiRouter)をタップアンドホールドして [設定の削除]を選択します。WMWifiRouter の接続に使用したコンピュータやデバイスからもネットワー クの削除が必要な場合もあります。

# セットアップ ウィザード

WMWifiRouterを始めて起動した場合、セットアップ ウィザ ードが自動的に開始されます。ウィザードが使用している デバイスで使用可能なインタフェースや設定を検出後、幾 つかの基本的な環境設定のオプションが提示されます。 このウィザードは1回しか起動しないので、デバイスに変 更があった場合は、[オプション]メニューの[ツール]から [すべての設定をリセット]を選択することで、再度ウィザー ドを開始させることができます。



## インタフェース検出

セットアップ ウィザードは、デバイス内の利用可能なイン タフェース(ネットワークカード)を検出します。デバイスに よっては、Wi-FiとBluetoothがオンの 場合にのみ検出が 行われるため、それらをオンにするよう要求されます。極 稀に、デバイスを USB でコンピュータにつなぐことが必要 となる場合もあります。

Wi-Fiカードを検出できなかった場合、不明なインタフェー スー覧が表示され、その中から選ぶことになります。 Wi-Fiカードを検出できないという問題は、時々発生しま す。

インタフェース検出のサイクルの中で、携帯通信ネットワ ーク接続の検出も行われます。携帯通信ネットワーク接 続が1つだけの場合、自動的に検出し選択されます。し かし、複数ある場合は、表示される接続の一覧から選択 する必要があります。検出した接続の一覧内で推奨され る接続のチェックボックスが予め選択されています。 セットアップウィザードを起動後はいつでも携帯通信ネッ トワーク接続を変更できます。変更は、[オプション]メニュ ーから[構成]->[接続方法]で行うことができます。



C H

WMWifiRouter





ください。



## Wi-Fi ネットワーク

インタフェース検出後に、セットアップ ウィザードは Wi-Fi ネットワーク設定を起動します。この環境設定画面は、 [オプション]メニューの[構成]から[Wi-Fi ネットワーク]を 選択した場合と同じものです。詳細は、後述のオプション 画面説明部分で扱われます。

Wi-Fi ネットワーク設定後、セットアップ ウィザードから Bluetooth と Wi-Fi をオフにするよう要求されます。しか し、実際に Bluetooth と Wi-Fi をオフにするのは、ハード ウェア Wi-Fi スイッチのあるデバイスもしくは、

WMWifiRouter 起動中は Bluetooth と Wi-Fi がオンの状態 であることが条件とされるデバイスを使用している場合 のみです。



### Wi-Fiネットワーク

Wi-Fiネットワークの管理方法を選択し てください。ダイナミックモードでは、ネ ットワークの作成と削除を毎回行いま す。設定済モードでは、ネットワーク設 定を1度だけ行い、以降はその設定を 利用します。他のアクセスポイントに接 続する場合は、[なし]を選択してください。



# メイン画面

メイン画面には 6 つのボタンがあります。5 つはデフォルト 接続プロファイルのため、残りの 1 つは WMWifiRouter を 終了するボタンです。接続プロファイルは、接続メニュー を選択して見ることができます。一方のオプションメ ニュ ーについては、このユーザガイドの後半部分で詳しく説明 します。



## 携帯から Wi-Fi 接続プロファイル



この接続プロファイルは、WMWifiRouter で最もよく使われているものです。携帯通信ネット ワーク接続をアドホック Wi-Fi ネットワークを用いて Wi-Fi で共有します。

多くの HTC デバイスでは、Wi-Fi パワーモードがデフォル トで[高性能]に設定されています。これが原因で様々な問 題、特に接続やルーティングの失敗が起きるかもしれま せん。WMWifiRouter 内で直接設定を行うことができます。 [オプション]メニューの[ツール]>[Wi-Fii]>[電源]で行うこと ができますが、すべてのデバイスで行える訳ではありま せん。

パワーモードを換える別の方法として、[スタート]メニューの[設定]>[接続]タブの[ワイヤレス LAN]を選択し、[パワ ーモード]タブで設定行う方法があります。この設定は、常 に[最高バッテリー]に設定されている必要があります。



## 携帯から USB 接続プロファイル



この接続プロファイルは、携帯通信ネットワーク接続を USB を通して行います。この接続プロファイルはパワー消費が最も低いですが、必要要件が比較的多くあります。まず、USB ケーブルが必要です。

互換性の問題や特定のソフトウェアが接続するコンピュータで起動していることも必要となります。必要 とされるソフトウェアは、Windows XP、Windows Vista、そして Linux(の様々な種類)で利用可能です。 必要とされるソフトウェアの主要要素は、USB を超えてモバイルデバイスとの伝達を行う RNDIS ドライ バです。

#### Windows XP

Windows XP では、ActiveSync バージョン 4.5 以上が必要です。Windows XP のバージョンの中には上

記のソフトウェアがすでにインストールされている場合もありますが、ほとんどの場合は、インストール されていません。このソフ トウェアは、通常、モバイルデバイス購入時に付いている CD/DVD に含まれ ています。含まれていない場合は、Microsoft 社の Web サイトからダ ウンロードできます。

#### Windows Vista / Windows 7

Windows Vista では、Windows Mobile Device Center が必要です。ActiveSync については、通常モバ イルデバイス購入時に付いている CD/DVD に含まれていますが、Microsoft の Web サイトからダウン ロードすることもできます。

#### Linux

Linux では、usb-mdis-lite パッケージが必要です。様々なソースから様々 なバージョンやパッケージ フォーマットが利用でき、使用しているデストリビューションも含まれることもあります。使用しているデス トリビューションの説明書もしくは Web サイト で、パッケージをどのように、またどこへダウンロードした らよいかを確認ください。

## 携帯から Bluetooth 接続プロファイル



この接続プロファイルは、PAN(Personal Area Network)Bluetooth プロファイルを用いて、携帯通信ネットワーク接続を Bluetooth を通して共有します。DUN(Dial-Up Networking)Bluetooth プロファ イルを用いての共有はサポートしておりません。

この接続プロファイルを特定のモバイルデバイス/コンピ ュータとの組み合わ せで初めて用いる場合、モバイルデ バイスを検出できるようにする必要があります。そうしな いと、コンピュータがモバイルデバイスを検出し、組み合 わせを作 ることができません。モバイルデバイスを検出 できるように設定するには次の手順で行います。

- 携帯から Bluetooth 接続プロファイルを用いて接
  続
- [オプション]メニューから[ツール]>[Bluetooth]を 選択し、[検出可能切り換え]で、Bluetoothの状 態をオンと検出可能にします。すべてのデバイス でこれが可能というわけではないので、該当する オプションがないデバイスを使用している場合 は、Windows Mobile使用説明書で手動での設定 方法を確認してください。
- コンピュータ上でモバイルデバイスを検出して、 組み合わせを作り、PANオプションを設定しま す。これを行うための詳細な手順は、プラットフォ ームとオペレーティングシステムに依存している ため、このユーザガイドには情報は載せられて いません。
- デバイスがマッチングされ、設定ができたらなら、 デバイスを再度検出不可能にする必要があります。[オプション]メニューから[ツー ル]>[Bluetooth]を選択し、[検出可能切り換え]で オフにします。

この作業を一度行ったなら、組み合わせを変えない限り、 同じモバイルデバイスとコンピュータの組み合わせで作業



### を繰り返す必要はありません。



### WMWifiRouter

設定するBluetoothの状態を選択してく ださい

オフ		•
ОК	あ	キャンセル

## Wi-Fi から USB 接続プロファイル



この接続プロファイルでは、モバイルデバイスを Wi-Fi ドングルとして使用できるようになり ます。利用可能な Wi-Fi 使用信号が USB を通して共有されます。 この接続プロファイルの必要要件は、[携帯から USB]接続プロファイルと同じです。 モバイルデバイスは、Wi-Fi ネットワークカードとしてコンピュータに表示されないので、任意の Wi-Fi ア クセスポイントにモバイルデバイスを手動で接続する必要があります。

### USB から Wi-Fi 接続プロファイル



この接続プロファイルは、USB 接続を Wi-Fi を通じて行います。[Wi-Fi から USB]接続プロファイルとは別個の接続プロファイルです。Wi-Fi から USB 接続プロファイルでは、インターネットの提供は無線によって得られ、それを USB によりコンピュータに送られて共有します。一方、USB から Wi-Fi 接続プロファイルでは、インターネットの提供が USB を通じてコンピュータからモバイルデバイス に送られ、無線によって共有するという点で大き く違いがあります。

この接続プロファイルの必要条件は、携帯から USB 接続プロファイルと同じです。

この接続プロファイルは多くの場合、インターネット接続があるが、Wi-Fiネットワークカードがないコン ピュータを使用している時、他の無線通信可能なデバイスにインターネット環境を提供するのに用いら れます。

この接続プロファイルは、設定が最も難しく、コンピュータがモバイルデバイスとのインターネット共有で きることが条件になります。Windows XP でこの接続プロファイルをセットアップするには、次の手順で行 います。Windows Vista に関してもほぼ同様の手順になります。

#### Windows XP

コンピュータのインターネット共有を有効にします。注意すべき点として、Windows は 1 つのモバイルデ バイスに対して 2 つの異なるネットワークカード名を使用していることが挙げられます。1 つはインターネ ット共有モード、もう 1 つは ActiveSync モードです。

セットアップするもっとも簡単な方法は、WMWifiRouter を USB から Wi-Fi 接続モードで接続し、 WMWifiRouter の準備が完了する まで待ちます。次に、コンピュータのネットワーク接続を開きます。一 覧の中から、使用しているインターネット接続を右クリックし、[プロパティ]を表示します。[詳細設定]タブ を開き、[インターネット接続の共有]を有効にします。[インターネット接続の共有]のチェックボックスの 下にネットワーク選択用のボックスがある場合、[Windows Mobile based Internet Sharing device]を選択 します。

ここまでの作業を行ったなら、WMWifiRouterの接続を切断し、USBからWi-Fi接続モードに再接続します。コンピュータの設定を変更しない限り、USBからWi-Fi接続プロファイルを再度使用する時に、一連のセットアップ作業を再度行うことなく、即座に接続できます。

ー度セットアップを行うと、携帯から USB 接続プロファイルを同じコンピュータで使用できません。[携帯 から USB]接続プロファイルを再度有効にするには、コンピュータ上のインターネット接続共有を無効に する必要があります。





接続画面

WMWifiRouterの接続を開始し、準備が完了するとネット ワーク名、およびパスワードが表示されます。





ステータス ビュー

ステータス画面は WMWifiRouter が接続プロファイルを接 続中、接続済み、もしくは切断中の場合に表示されます。 画面はステータスと統計、2 つのビューで構成されていま す。

ステータス ビューは、ステータス オプションでのみ使用 し、他のオプションすべては統計ビューを使用します。 ステータス ビューでは、統計ボタンからデフォルトの統計 ビューへの移動や切断ボタンで接続の切断ができます。

### 統計ビュー

統計ビューでは、赤い矢印ボタンでステータス ビューに 戻ったり、緑の矢印ボタンで異なる統計ビューに切り替え ることができます。

統計ビューに表示される値の単位は、ビットではなくバイ トです。

NMWifiRo	outer 🗹 🕻	Yji∉ ×
	概要	
携帯電話	<b>受信</b> 0 B/s 470.2 KB	<b>送信</b> 0 B/s 51.6 KB
Wi-Fi	0 B/s 58.4 KB	0 B/s 477.9 KB
バッテリ	100 %	41.2 C
接続	あ	オプション

## ステータス



デフォルトのステータス ビューはソースとターゲットの接続状況とバッテリ残量をアイコンで 表示します。

ステータスビューでは、統計ビューへ切り換わる統計ボタン(グラフが書かれた四角いボタン)が表示されます。統計ビューを表示している場合には、赤い矢印ボタンでステータス ビューに戻ることができます。

### 概要



統計概要画面は、ステータス ビューの統計ボタンを押した際に表示されるデフォルト画面です。

データ転送速度とインタフェースをつけてからのデータ転送数が表示されます。

バッテリのレベルや温度の表示に対応したデバイスであ れば、それらの情報も表示されます。

ステータス ビューに戻るには赤い矢印ボタンを使い、他 の統計ビューを見るには緑の矢印ボタンを使います。

NMWifiRo	outer 🗹 🕻	‡¶i€ ×
	概要	
携帯電話	<b>受信</b> 0 B/s 470.2 KB	送信 0 B/s 51.6 KB
Wi-Fi	0 B/s 58.4 KB	0 B/s 477.9 KB
バッテリ	100 %	41.2 C
$\triangleleft$	5	
接続	あ	オプション

### ソース

ソース インタフェース(インターネットに接続しているイン タフェース)の情報を表示します。統計概要ビューより具体 的な内容が含まれます。

IPアドレス、サブネットマスク(ネットワーク表記)、MACアドレス、そしてパケットの統計等の情報が表示されます。

NMWifi	Router	≤ #	¶. ⊮	×
	携帯電	話		
アドレス			0.0.0.	0/0
	00:00	:00:00:0	0:00:00	):00
法庭	5	<b>党信</b>	72	
迷皮	0	D/S	01	0/S
<b>座</b> ④		0		0
エラー		ŏ		ŏ
	5			
接続	あ		オプション	

ターゲット

ターゲット インタフェース(プライベート ネットワークに接続しているインタフェース)の情報を表示します。統計概要 ビューより具体的な内容が含まれます。

IPアドレス、サブネットマスク(ネットワーク表記)、MACアドレス、そしてパケットの統計等の情報が表示されます。

🐉 WMWifiRe	outer 🗹	≵Yji∉ ×
	Wi-Fi	
アドレス		0.0.0/0
	00:00:00:0	0:00:00:00:00
	受信	送信
速度	0 B/s	0 B/s
合計	0 B	0 B
破棄	0	0
エラー	0	0
接続	あ	オプション

## NAT

NAT(Network Address Translation)エンジンの情報が表示されます。情報には、マッピング数、バイトやパケットでマッピングしたデータ、廃棄したパケット等が含まれます。このビューのラグは通常は数秒ですが、デバイスにより、またデータ量の重い通信では大幅なラグが起きることがあります。

🛃 WMWifiRou	uter 🗹 🛱	Yjin€ ×
	NAT	
	受信	送信
マッピング	0	0
バイト	0	0
パケット	0	0
- 欠落	0	0
これらの統計 いる可	値は大幅なラ J能性がありま	グが生じて Eす
$\triangleleft$		
接続	あ	オプション

## NAT マッピング

NAT マッピング画面に移動します。この画面では、NAT エンジンによる接続のマッピングをリアルタイム で見ることができます。

## 切断



接続中の接続プロファイルを切断し、メイン画面に戻ります。

# オプション

特殊なツールや環境設定画面への移動を可能にします。

### ツール

特殊な状況下で必要となる機能が含まれています。上級 ユーザでない限り、このメニュー内の機能を使うことはあ りません。

	すべての設定を	リセット・
	ログ表示	
	サポート情報保	存 いて
	USB	+
	Bluetooth	*
_	Wi-Fi	•
接	練あ	オプション

### すべての設定をリセット

環境設定をすべて消去し、デフォルト設定に戻します。さらに、セットアップ ウィザードを再度トリガさせます。

モバイルデバイスの環境設定を大きく変えた場合にこのオプションを使うことをお勧めします。

### ログ表示

通常のディスプレイとログのディスプレイを切り換えます。ログには、プログラムの起動時から WMWifiRouter が行った動作に関する膨大な情報が含まれます。 通常、ログは、WMWifiRouter カスタマサポートによるトラブルシューティングの際に使います。

## サポート情報保存

サポートに必要なデバイス情報をテキストファイルに保存します。カスタマサポートによるトラブルシュ ーティングの際に使います。

### **USB**

USB のインタフェースに関する機能が含まれています。

#### モードの切り換え

利用可能モードに USB ポートを切り換えます。通常の USB オペレーションは、Rndis モードを使用します。

Rndis モードは、ActiveSync とインターネット共有という2 つのサブモードに分けられます。ActiveSync モードは、通常コンピュータ にモバイルデバイスを接続している場合に使用します。インターネット共有 モードは、USB 間でデータ等のルーティング時に使用します。

### Bluetooth

Bluetooth のインタフェースに関する機能が含まれています。

#### モードの切り換え

Bluetooth stack の通常モードと PAN モードを切り換えます。

#### 検出可能モードの切り換え

Bluetooth スタックのオン/オフ、さらにオン/検出可能モードを切り換えます。組み合わされていないデ バイスがモバイルデバイスを検出するためには、Bluetoothを検出可能モードにする必要があります。 この機能は、すべてのデバイスで動作するわけではありません。WMWifiRouter外で手動でこの機能を 動作させる方法は Windows Mobile やデバイスのユーザガイドで確認してください。

### Wi–Fi

Wi-Fiのインタフェースに関する機能が含まれています。

#### 電源

Wi-Fi の出力パワーをオンザフライで変更できます。WifiRouter オペレーションには、Full Power モード をお勧めします。 このオプションは、すべてのデバイスで動作するわけではありません。WMWifiRouter外で手動でこの機能を動作させる方法は Windows Mobile やデバイスのユーザガイドで確認してください。

#### 接続モード切り換え

接続モードの切り換えができます。利用可能なオプションは、[すべて]、[アクセスポイントのみ]、[アドホック接続のみ]の3種類です。

### 構成

このサブメニューは、WMWifiRouter環境設定オプションへのアクセスを可能にします。詳細設定の環 境設定以外の設定は、すべての接続プロファイルに設定が反映されます。 接続中やルーティング中に、設定オプションを変更しないでください。ただし、使用説明書が特定のオプ ションのために変更を行うよう記述がある場合やカスタマサポートから指示を受けた場合は例外です。

## 言語

WMWifiRouter で使用する UI 言語の設定が行えます。

## 接続方法

携帯通信ネットワークの環境接続画面に移動します。携帯通信ネットワークをベースにした接続プロフ ァイルでインターネットに接続する場合に、WMWifiRouter がどの携帯通信ネットワーク接続を使用する か設定できます。

複数の携帯通信ネットワークが存在する場合、WMWifiRouter は検出される接続一覧内で推奨される 接続を予め選択します。

接続中やルーティング中に、設定オプションを変更しないでください。

### Wi-Fi ネットワーク

Wi-Fi ネットワークの環境設定画面に移動します。

この画面では、Wi-Fiネットワークの生成や動作に関する様々な設定を変更できます。これらのオプショ ンは、Wi-Fiをターゲットとしている接続プロファイル(携帯からWi-Fi等)との関連性があるのみで、 Wi-Fiをソースとする接続プロファイル(Wi-FiからUSB等)とは関連がありません。 Wi-Fi ネットワーク マネジメント

まず、WMWifiRouter によるWi-Fiネットワークの管理方法 を選択します。ダイナミック(セキュリティ重視)、設定済み (速度重視)そしてなし(上級者向け)の3種類のオプション から選びます。

ダイナミック(セキュリティ重視)オプションは、必要な時に 毎回 Wi-Fi ネットワークを作り、必要なくなるとネットワー クを削除します。デフォルト設定としても使われ、 WMWifiRouter がすべてやってくれる最も簡単なメソッドで

す。しかし、Wi-Fiドライバに欠陥のあるデバイス などで はフリーズが起きてしまうこともあります。

設定済み(速度重視)オプションでは、Wi-Fi ネットワーク を一度作ると、デバイスのWi-Fi 設定に保存されます。セ ットアップ済みの他のWi-Fi ネットワークと摩擦が起きる こともありますが、接続プロファイルのスタートアップやシ ャットダウンのスピードはダイナミック(セキュリティ重視) より高速です。

なし(上級者向け)オプションは、WMWifiRouter による Wi-Fi ネットワーク マネジメントを無効にします。Wi-Fi ネットワーク マネジメントをデバイスとWindows Mobile に 任せるかたちになります。

#### 接続モード

次に、接続時の接続モードを選択します。**アドホック(推 奨)となし(上級者向け)**の2種類のオプションから選べま す。

**アドホック(推奨)**モードは、Wi-Fi が使われる度に接続モードをアドホックに設定し、切断されると設定を上書き保存します。デフォルト設定はこのモードです。

なし(上級者向け)はどの接続モードも設定しません。この 設定は通常、インターネット信号を携帯データ通信接続 からハードウェアのアクセスポイントに提供したい場合に のみ使用されます。



### Wi-Fiネットワーク

Wi-Fiネットワークの管理方法を選択し てください。ダイナミックモードでは、ネ ットワークの作成と削除を毎回行いま す。設定済モードでは、ネットワーク設 定を1度だけ行い、以降はその設定を 利用します。他のアクセスポイントに接 続する場合は、[なし]を選択してください。

ダイナミック (セキュリティ重視)	-
ダイナミック (セキュリティ重視)	
設定済 (速度重視)	
なし (上級者向け)	



設定する接続モートを選択してください。アドホックモードは、使用デバイスをアクセスポイントとする場合に必要です。他のアクセスポイントに接続する場合は、[なし]を選択してください。

アドホック (推奨)		-
前へ	あ	次へ

#### ネットワーク名

WMWifiRouter がネットワーク管理を行なうよう設定したな ら、ネットワーク名設定画面が表示されます。アドホック ネットワークが検出された場合は、検出されたネットワー クの一覧も表示されます。

ネットワーク名は 6 文字以上 32 文字以内で設定します。 ネットワーク名に、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)とア ンダースコア ()以外は使用できません。ネットワーク名 の最初は必ずアルファベットを使用し、数字は 2 文字目 以降に使用してください。ネットワーク名は、ほとんどの プラットフォームで大文字と小文字の区別はありません が、いつでも設定時と同じ様に入力することをお勧めしま す。

### 暗号化

暗号化の設定には、WEP/Open(推奨)と None(テスト用) のオプションがあります。WEP 暗号化を使用が推奨され ていますが、トラブルシューティングの場合だけは、None オプションを使用して問題の原因がWEP暗号化であるか どうかを確認します。



WEP/Open (推	奨)	<b>•</b>
WEP/Open (推讀	吳)	
なし (テスト用)		
前へ	あ	次へ

#### 暗号化(WEP キー)

WEP 暗号化の使用を選択している場合、WEP キーの設 定画面が表示されます。

WEP キーは 5 もしくは 13 文字の英数字、または 10 もしく は 26 文字の 16 進数表記になります。

大半のプラットフォームは WEP キーの長さを任意で設定 できますが、互換性の問題になると、WMWifiRouter では サポートしていないでの、上記の ような制限がありま す。上記の基準に満たない WEP キーは、基準を満たす WEP キーを生成するために WMWifiRouter のシードとして 使用されま す。

互換性が最も高いとされる WEP キーは数字 10 桁ですの で、まず数字 10 桁の WEP キーを幾つか挑戦してみてく ださい。この作業で確認を行 なった後、より安全性の高 い数字 26 桁へのステップアップをお勧めします。しかし、 すべてのデバイスやプラットフォームが、26 桁の数字の WEP キーをサ ポートしているわけではありません。 使用を希望する WEP キーを入力すると、正確な WEP キ ーが表示されると同時に、クリップボードにコピーされま す。

#### 暗号化(WEP キー インデックス)

最後に、WEP キー インデックスの設定画面が表示され ます。デフォルト設定されている1の設定が推奨されてお り、変更する必要はありません。



### Wi-Fiネットワーク

暗号化に必要なWEPキーを入力してく ださい。有効なWEPキーは5もしくは13 文字の英数字、または10もしくは26文 字の16進数表記になります。この基準 に満たないWEPキーが入力された場合 は、基準を満たすWEPキーを生成する のに利用されます。

1234567890		
前へ	あ	次へ



1		•
前へ	あ	次へ

## 変更

接続中やルーティング中に、設定オプションを変更しないでください。この設定オプションの変更は、次 に WMWifiRouter によって Wi-Fi が使われる時に反映されます。

## IP アドレス範囲

IP アドレス範囲の環境設定画面が表示されます。この画 面では、WMWifiRouter が使用する IP アドレスの範囲を 設定します。デフォルト設定では、192.168.3.x が使われて いますが、使用しているサーバやクライアントデバイスの 他のネットワークとコンフリクトを起こす(干渉して正常に 動作しない)場合には変更する必要があります。 使用したい IP アドレス範囲が一覧に表示されていない場 合、アドバンス設定画面で手入力が可能です。 接続中やルーティング中に、設定オプションを変更しない でください。



## バッテリ

バッテリの環境設定画面が表示されます。 WMWifiRouterは、定期的にバッテリの残量や温度をチェ ックし、電話するためのバッテリの温存のため、またオー バーヒートやバッテリ切れによってデータが消えるのを防 ぐために自動でバッテリを切ることができます。 この設定画面では、バッテリ残量が低い時やバッテリの 温度が高温になった時にWMwifiRouterがどのように反応 するか等を設定できます。

デフォルト設定は、バッテリ残量が 10%以下になった時、 またバッテリの温度が 65°C以上になった時に WMWifiRouter の電源が切れるよう設定されています。 デバイスによっては、温度感知ができません。そのため、 設定温度以下で WMWifiRouter の電源が切れたり、設定 温度になっても WMWifiRouter の電源が切れない場合が あります。大半のデバイスは、WMWifiRouter によって自 動的に検知されます。

温度感知が正しく行われないデバイスを使用中にデバイ スの電源が切れたとしても、焦る必要はありません。最近 のバッテリのほとんどは、ある温度で電源を切る熱/科 学スイッチがあり、致命的なダメージを防いでくれます。 熱/化学スイッチは少しの時間と熱が冷めないとリセット できないので、しばらくの間デバイスを起動することはで きません。バッテリをデバイスから取り出し、数時間放置 してから再度使用してください。(場合によっては、最大48 時間放置する必要があります)

接続中やルーティング中に設定オプションを変更できます が、その場合は変更が反映されるのに数分かかる場合 があります。



バッテリ

WMWifiRouterはバッテリ残量や温度の 基準値に従って、自動的にシャットダウ ンを行うことができます。この機能を有 効にしますか?



## キープアライブ

キープアライブの環境設定画面が表示されます。 WMWifiRouter は、接続が生きていることを相手に伝える ために、定期的にサーバとのネットワーク確認や Web ペ ージの読み出しを行います。デバ イス/プロバイダによっ ては、キープアライブ機能が必須で、それにより接続が維 持されます。通常ならばネットワーク接続の確認ですが、 プロバイダによって は、HTTPトラフィックがない限り接続 を切断することがあります。

複数のホスト名や URL を入力する場合は、パイプライン ( | )で区切ります。Ping モードは URL フォーマットのターゲ ットにも対応しているので、Ping から HTTP GET モードに 切り換えた場合にターゲットを変更する必要はありませ ん。

複数のターゲットを指定した場合、設定したオペレーショ ンを1つのターゲットで実行できるまで、ターゲットの一覧 を1つずつ確認します。

接続中やルーティング中に設定オプションを変更できますが、その場合は変更が反映されるのに数分かかる場合があります。

### 詳細設定

詳細な環境設定画面が表示されます。他の設定画面にないインターナルなオプションの数々を微調整 したり、変更したりできます。

オプション一覧には、オプション名だけでなく、簡単な説明も表示されます。これらのオプションは上級 ユーザ向けですので、オプション内容等をよく理解している場合にのみ変更してください。 接続中やル ーティング中に、設定オプションを変更しないでください。



キープアライブ

WiFiRouterは接続が有効であることを 確認するために、サーバとの通信や Webページの読み込みを行います。こ の機能を有効にしますか?



## ポートマッピング

ポートマッピングの環境設定画面が表示されます。

ポートマッピングの追加、編集、削除ができます。グロー バルネットワーク(インターネット)からローカルネットワーク へ接続を行う場合にポートマッピングを使います。

接続中やルーティング中に設定オプションを変更できます が、接続中の接続プロファイルを切断し再度接続した後、 変更が反映されます。

NMWifiRouter	╚╬╏╓。ҝ
名前	
ローカルポート	0
プロトコル	TCP 🔻
宛先IPアドレス	
宛先ポート番号	0



バージョン情報

バージョン情報画面には、使用している WMWifiRouter の著作権情報、バージョン情報、ビルド情報等が表示されます。

# ライセンス

アクティベーション情報画面には、対応する使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書内の事 柄は、最初のセットアップ時に承諾しているので、拒否することはできません。 さらに、現在使用しているアクティベーション キーの変更が行えます。

# 終了

WMWifiRouter の電源を切ります。接続中の接続プロファイルがある場合には、その接続も切断します。

### 著作権

(C) 2008, 2010 Morose Media. All rights reserved.

本ユーザガイドに記載されている内容は、予告なしに変更されることがあり、Morose Mediaはその責務を負うものではありません。また、本書で言及されている社名および製品名はすべて、それぞれの所有者の商標または商標登録です。

日本語ローカリゼーション:株式会社ネクステッジテクノロジー http://www.nextEDGEtech.com <u>http://www.shareEDGE.com</u> シェアエッジプロジェクト